

第 11 回 東日本大震災アーカイブワークショップ議事要旨

日 時：令和元年 12 月 11 日（水）13：30～15：30

場 所：東北大学附属図書館 1 号館 2 階大会議室

出席者：岩手県立図書館、宮城県図書館、福島県立図書館、仙台市民図書館、岩手大学図書館、東北大学附属図書館（事務局）、福島大学附属図書館、国立国会図書館、防災科学技術研究所自然災害情報室、防災専門図書館

配付資料：

資料 1. 第 21 回図書館総合展フォーラム（防災科学技術研究所主催）配付資料一式

資料 2. 各機関の活動報告書 ー震災記録の収集を中心にー

参考資料 1. 第 10 回 東日本大震災アーカイブワークショップ議事要旨・議事メモ

参考資料 2. 第 9 回 被災地図書館との震災資料の収集・公開に係る情報交換会 ご案内

参考資料 3. 『労働の科学』74 巻 8 号 掲載記事“図書館共同キャンペーン「震災記録を図書館に」で震災資料を収集・公開”

参考資料 4. 令和元年度東日本大震災アーカイブシンポジウムチラシ・国立国会図書館東日本大震災アーカイブパンフレット

参考資料 5. 防災専門図書館 伊勢湾台風 60 年企画展チラシ

机上配付資料 1. 防災専門図書館のご案内

机上配付資料 2. 東日本大震災アーカイブワークショップ開催記録公開に関する意見とその対応について

机上配付資料 3. 東北大学附属図書館「漱石文庫デジタルアーカイブプロジェクト：漱石の肉筆を後世へ！」チラシ

1. 開会

議事に先立ち、東北大学附属図書館総務課長からの挨拶及び出席者の自己紹介を行った。

2. 前回ワークショップ議事内容の確認

事務局より参考資料 1 に基づき、前回の議事内容の確認を行った。

また、机上配付資料 2 に基づき、第 10 回以降の開催記録をウェブで公開することを再度確認した。

3. 第 21 回図書館総合展フォーラム 参加報告

防災科学技術研究所（防災科研）より資料 1 に基づき、第 21 回図書館総合展（2019 年 11 月 12～14 日、於 パシフィコ横浜）にて開催された、防災科研主催フォーラム“《東日本大震災 10 年プレイベントフォーラム》 災害と図書館 2019「災害アーカイブの発展

と継承 ～東日本大震災を例に～」について、以下の報告があった。

- ・「連携」をテーマに、地域内連携、デジタルアーカイブ連携の 2 点を切り口とした。
- ・フォーラムには 119 名の参加があり、アーカイブへの関心の高さを感じた。
- ・各機関からの多大な協力によって本フォーラムを実現でき、改めて御礼申し上げる。
本フォーラムの開催は、本ワークショップにおける機関連携の成果の象徴的な事例
と言ってよい。
- ・(東北大学登壇者から) 参加者からは震災の被害写真に大きな反響があり、発生から
時間が経過し改めて震災について考える良い機会となったと感じた。
- ・(質問) 本フォーラムの記録のアーカイブの予定はあるか。
→現在作成中。自然災害情報室のウェブサイトにて公開予定。

4. 各機関からの活動報告

各機関より資料 2 に基づき報告を行い、次のような話題が出た。

- ・震災に関する発行資料や寄贈は年々減少傾向。担当者も兼任が多く、一般に流通して
いない資料の収集も困難になっている。
- ・震災関連予算も減少していく中で、収集・公開をどのように継続していくかが課題。
- ・展示や資料ガイドの公開は好評を得ている。一方で、収集した資料のさらなる利活用
が課題。
- ・震災から時間が経過し、当時の状況を知らない方も多いことを震災関連イベント等の
反響でも実感する。

5. 各機関からの提案事項

(1) 東日本大震災 10 年 (2021 年 3 月) に向けての各館の活動について

東日本大震災 10 年に向け、企画・実施を予定しているイベント等について、各機関より以下の報告を行った。今後も、各機関の具体的な実施計画について情報共有していくこととした。

- ・震災発生当時の図書館職員の体験記録、10 年経つ今の想い等の収集・公開
- ・これまでの震災展示の総括的展示
- ・例年の企画展の拡大開催及び講演会の実施
- ・震災関連事業の担当部署 (自治体、大学内) で保管している震災関連資料の収集。
- ・次回の図書館総合展への出展及び東日本大震災をテーマとしたフォーラム開催

(2) 連携企画について

連携企画について次の意見があり、別途企画を検討することとした。

- ・震災後、各機関が継続的に行ってきたアーカイブ事業を知ってもらえることができるとよい。それが、資料寄贈のきっかけにもなるのではないかと。

- ・図書館総合展に限らず、東北で10年を期としたイベント等を実施してはどうか。10年の節目を逃すと、次にいつできるかわからないし、東北でやることに意味があるのではないか。

6. その他

(1) 次回ワークショップの日程

今回は、2020年の11月後半から12月中旬に開催することを確認した。

(2) メーリングリスト作成について

事務局から、情報共有（震災関連記事掲載報告、イベント開催案内等を含む）や議論の場として、本ワークショップ参加機関のメーリングリストを作成してはどうかとの提案があり、事務局が作成し、具体的な運用については別途相談することで承認された。

以上